



「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第34号をお届けします。

今回は、2008年度研究会活動報告、6月に開催予定のAP研主催「アンテナ伝搬基礎講座」、3月にマカオで開催したアンテナ・伝播研究会についてお知らせします。

【1】2008年度研究会活動報告

通ソ研専運営会議より、2008年度における各常設研究会の活動結果が公開されました。詳細は、研専運営会議のホームページ(<http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/>)から閲覧できますので是非ご覧下さい。AP研は、昨年に引き続き、下の式で定義される売上貢献度と研究活動度という、通ソの2つの評価指標がいずれも19研究会中第1位でした。

売上貢献度=技報予約数×1.4+大会発表件数

研究活動度=研究会発表件数×2+大会発表件数

これもひとえに、大会や研究会で講演していただいた皆様方のおかげであると感謝している次第です。AP研ではこれ以外に、毎年開催する国際会議ISAPや、年に数回開催する第二種研究会「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」などの活動もあり、アクティビティはもとより、経営面でも信学会に対してダントツの貢献をしているものと思います。ただ、AP研の売上貢献度と研究活動度の高さは大会発表件数に依存しているところが大きいようで、研究会発表件数はRCS研に続いて第2位（2007年度は第4位）ですし、技報予約数は年々減少していています。年間購読料は予約数が増えれば下がる仕組みになっておりますので、年間購読予約をされていない方、機関は、是非、予約購読していただきますよう、お願いいたします。

【2】AP研主催「アンテナ伝搬基礎講座」

AP研では、大学のアンテナ伝搬関係の研究室に配属された方、企業においてこれからアンテナ伝搬関係の研究開発を始めようとしておられる方、既に研究開発に従事しているが基礎力の強化を図りたいと考えておられる方、などを主な対象として、「基礎講座」を開催しています。2006年に特定の大学・研究室学生を対象としたトライアルを行い、その後対象を一般に広げて定例化、2007年からは毎年本講座を開催しています。これまでは主に、電磁気、アンテナ・給電回路、アンテナ測定などのアンテナ分野を中心としたものであり、その名も「アンテナ基礎講座」と称しておりました。これに対して、「伝搬の基礎的な知識についても 세미나に加えて欲しい」という多くのご要望を頂きました。これを受けて今年度より、伝搬の基礎的要素を含めた講座とし、講座名も「アンテナ伝搬基礎講座」として新たにスタートすることとなりました。下記に今年度の開講予定を記載します。なお、現在企画・準備が進められている段階であり、変更になる可能性もありますのでご注意ください。正式な情報につきましては、AP-NET、AP研ホームページ等でご案内致します。

記

日時：2009年6月9日(火)・10日(水) 2日間コース

場所：東京工業大学百年記念館3階フェライト会議室(東京都目黒区)

講師：6月9日(火) 堀俊和(福井大)、廣川二郎(東工大)

6月10日(水) 高橋応明(千葉大)、岩井誠人(同志社大)

内容：電磁気学基礎、給電回路と測定法の基礎、アンテナの基礎、基礎的伝搬と移動伝搬の基礎

申込時期：4/6～5/15 (定員78名で先着順)

参加費：未定、2日間通しの参加費になります

【3】AP研海外開催報告

3月のAP研は、3月9日(月)～3月10日(火)の2日間、マカオ大学において開催されました。残念ながら私は出席できませんでしたので、幹事補佐の西森氏(NTT)から報告していただきます。

AP研の海外開催は、2007年3月の台湾での開催に続き今回で4回目となります。今回は、AP研とマカオ大学、香港城市大学、IEEE AP-S Japan Chapterの共催の形で開催しました。ISAP2010がマカオで開催される予定であることから、現地の下見および準備状況確認も兼ねて開催しました。今回の会議全体の出席者は50名（日本：33名、香港：6名、マカオ：11名）であり、AP研関連論文29件（うち招待講演2件）の発表がありました。会議は、AP研堀委員長のOpening Remarksと香港城市大学のProf. Chanの招待講演から始まり、2日間にわたって熱心な質疑、討論が行われました。初日の最後には澤谷先生（東北大学）より、線状アンテナの日本の歴史に関する招待講演が行われました。研究会の最後に、伊藤先生（千葉大学）よりClosing RemarksとしてISAP2010の紹介が行われました。懇親会も盛大に行われ、日本とマカオの交流を図ることができ、現地の参加者からは電子情報通信学会のアクティビティに非常に高い関心を持っていただくことができました。



【4】AP研副委員長の戯言

今年も岩井幹事に無理を言って、過去5年間の研究会における所属機関別発表ランキングを作成していただきました。今年は、2008年度単独の発表件数で順位を付けてみました。岩井幹事の顔を立てて、同志社大実績の6件までの順位です。ちなみに金工大は4件でした。なお、過去5年間の順位の7位～9位は、立命館大、電通大、新潟大です。また、薄く（AP研HPのカラー版は黄色）塗りつぶしてあるのが幹事の所属機関、時期です。2006-2007年度幹事の山田先生（新潟大）の顔も立てて、5件までを掲載すればよかったですかね。

2008年度 順位	機関	単年度件数					過去5年間	
		2008年度	2007年度	2006年度	2005年度	2004年度	合計件数	順位
1	三菱電機	19	4	12	11	8	54	2
2	東北大	15	11	12	5	3	46	5
3	NTTドコモ	14	16	8	12	14	64	1
4	東工大	13	8	9	10	13	53	3
5	横国大	12	12	10	7	7	48	4
6	関西学院大	11	4	4	0	0	19	18
7	千葉大	10	4	5	8	4	31	12
8	NTT	9	11	6	7	10	43	6
8	福井大	9	7	6	5	5	32	11
10	NICT	7	5	6	10	5	33	10
10	大阪電通大	7	3	0	1	0	11	27
12	防衛大	6	12	1	3	3	25	14
12	同志社大	6	7	6	0	3	22	15

<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋（金沢工業大学）

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>